

# 教 育 委 員 会 定 例 会

日 時 令和8年5月28日（木）

午後1時30分～午後2時51分

場 所 防災コミュニティセンター大会議室

出席者：教育長 石井朝方 教育委員 西山清和、深澤里奈子、鈴木貴志、伴 英美子

事務局及び出席者：大木参事、村松社会教育課長、露木学校教育課副課長  
二見図書館長、二宮美術館長、下田教育指導員  
福田学校教育課管理係長、露木社会教育課社会教育・青少年係長  
鶴社会教育課スポーツ振興係長、穂谷野学校教育課管理係主事

石井教育長 皆さん、こんにちは。お忙しい中ご参集いただき、ありがとうございます。定刻になりましたので、始めさせていただきます。ただいまの出席者数は5名です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達しておりますので、これより令和8年湯河原町教育委員会5月定例会を開会いたします。本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。会議録署名委員は会議規則第35条の規定により、鈴木委員、伴委員の2名を指名いたします。よろしくお願いいたします。

次に、非公開とする案件についてお諮りいたします。（2）協議事項 協議第2号 令和8年度6月補正予算（第1号）（案）についてにつきましては、議会の議決を経るべき案件で、未確定の内容を含む案件であります。以上、1件の会議を非公開としたいと考えますが、ご異議ございませんか。

委員 全員異議なし

石井教育長 それではご異議がないものと認め、この1件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書き及び会議規則第33条第1項の規定により、非公開といたします。

議事録の承認

令和8年4月教育委員会定例会議事録の承認について

石井教育長 次に、議事録の承認に入らせていただきます。令和8年4月教育委員会定例会

議事録の承認について、事務局から説明をお願いします。

福田管理係長 令和8年4月教育委員会定例会議事録につきまして、修正等はありません。

石井教育長 説明が終わりました。議事録について、何か質疑等がありますか。

委員 質問、意見等なし

石井教育長 ないようでしたら、令和8年4月教育委員会定例会議事録については、承認することにご異議ございませんか。

委員 全員異議なし

石井教育長 それではご異議がないものと認め、令和8年4月教育委員会定例会議事録については承認されました。

## 案 件

### (1) 議決事項

議案第10号 湯河原町社会教育委員の委嘱について

石井教育長 次に、案件に入らせていただきます。(1) 議決事項 議案第10号 湯河原町社会教育委員の委嘱についてを議題といたします。事務局から提案理由の説明をお願いします。

露木社会教育課社会教育・青少年係長 議案第10号をお願いします。

(資料に基づいて、議案第10号 湯河原町社会教育委員の委嘱について 説明)

・任期が令和8年3月31日をもって満了となったため、湯河原町教育委員会教育長に対する事務委任規則の規定に基づき提出するもの

石井教育長 これをもって提案理由の説明を終わります。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

委員 質問、意見等なし

石井教育長 質疑がないようですから、質疑を終了いたします。これより議案第10号を挙手により採決いたします。本案は、原案のとおり決することに賛成の方は、挙手願います。

委員 全員挙手

石井教育長 全員賛成。よって、本案は原案のとおり可決されました。

(2) 協議事項

協議第3号 湯河原町教育委員会後援等承認申請について

石井教育長 次に、(2) 協議事項に入らせていただきます。協議第3号 湯河原町教育委員会後援等承認申請についてを案件といたします。事務局から協議理由の説明をお願いします。

露木社会教育課社会教育・青少年係長 協議第3号をお願いします。

(資料に基づいて、協議第3号 湯河原町教育委員会後援等承認申請について 説明)

・おもてなし体験「ゆがわら子ども伝統文化祭2026」

石井教育長 これをもって協議理由の説明を終わります。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

深澤委員 質疑ではないのですが、五島さんは知り合いで、前回は盆栽教室とか、商工会で行われたときに、見学に行きました。普段は椅子に座ってられないお子さんが、すごく集中して盆栽をやって、お父さんが「こんなに座ってられる子じゃないんですよ」と、子どもの本当の成長をすごく喜んでおられたなと思い出しました。今度は盆栽だけでなく、いろいろな角度でやっていただけるので、素晴らしいなと思っております。

石井教育長 補助金が落ちてないんですね。

深澤委員 これだけのことを湯河原でやってくださるので、下りるといいですね。

石井教育長 他に質疑等はございませんか。

委員 質問、意見等なし

石井教育長 質疑がないようですから、質疑を終了いたします。これより協議第3号を挙手により採決いたします。本案は、原案のとおりとすることに賛成の方は、挙手願います。

委員 全員挙手

石井教育長 全員賛成。よって、本案は原案のとおり決定いたしました。

協議第4号 湯河原町教育委員会後援等承認申請について

石井教育長 次に、協議第4号 湯河原町教育委員会後援等承認申請についてを案件といたします。事務局から協議理由の説明をお願いします。

轟社会教育課スポーツ振興係長 協議第4号をお願いします。

(資料に基づいて、協議第4号 湯河原町教育委員会後援等承認申請について 説明)

・ソーリーカーニバル2026（ライフセービング競技会）

石井教育長 これをもって協議理由の説明を終わります。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

委員 質問、意見等なし

石井教育長 質疑がないようですから、質疑を終了いたします。これより協議第4号を挙手により採決いたします。本案は、原案のとおりとすることに賛成の方は、挙手願います。

委員 全員挙手

石井教育長 全員賛成。よって、本案は原案のとおり決定いたしました。

## 報 告

（1）令和8年度児童・生徒数について

石井教育長 次に、報告に入らせていただきます。（1）令和8年度児童・生徒数について、事務局から報告をお願いします。

福田学校教育課管理係長 資料1をお願いします。

（資料に基づいて、令和8年度児童・生徒数について 報告）

・湯河原小学校、吉浜小学校、東台福浦小学校、湯河原中学校、福浦幼稚園、宮上幼稚園

石井教育長 報告が終わりました。いよいよ1,000人を切ったということですね。

大木参事 東台は去年は80人で、3人しか減っていないです。

深澤委員 1年生が増えていますね。移住とかではなく、もともと地域にいらっしゃった方ですか。

大木参事 吉浜小学校が1クラスになりまして、学区境のご家庭のお子さんがどちらか選ぶような傾向が出てきております。その結果、東台を選択する方も何人か出ておりました、そういった意味で、1年生が少し増えております。もちろん、町外から転入された方もいらっしゃいます。

石井教育長 中学校については、1年生は2年生と数は変わりませんが、1学年は35人クラスの学年なので、4クラスです。2年生はその対象ではないので、3クラスということになります。今後、6年生、5年生、4年生は、35人学級です。何か質疑等がございますか。

委員 質問、意見等なし

(2) 令和7年度人権教育に係る年間計画に基づく取組状況について

石井教育長 次に、(2) 令和7年度人権教育に係る年間計画に基づく取組状況について、事務局から報告をお願いします。

露木学校教育課副課長 資料2をお願いします。

(資料に基づいて、令和7年度人権教育に係る年間計画に基づく取組状況について 報告)

・現状、目的・ねらい、具体的方策 等

石井教育長 報告が終わりました。何か質疑等はございますか。

露木学校教育課副課長 ぜひ、吉浜小学校のホームページもご覧になってください。

鈴木委員 質問ではないんですが、吉浜小学校に昨年度末に訪問しましたときに、掲出されていたのを読ませていただきました。非常に丁寧な言葉で、具体的な声を子どもたち一人一人が書いてありました。カードを書くための取り組みということではなく、日頃の人権教育の取り組みの反映だなと感じました。その場で校長先生にもお伝えしました。

露木学校教育課副課長 ありがとうございます。

石井教育長 一般質問で学校間の格差はあるかという質問が出てるんですが、委員会としましては、どこもきちんと取り組んでいただいておりますので、格差はないとお答えしようと思っております。その一例として、この様な取り組みを共通して行っているということの説明ができたらなと思います。

伴委員 湯河原中学校ですが、保護者アンケートを1月に実施すると書いてあります。振り返りのところで、「情報を共有し、組織的に対応した」とありますが、具体的に特筆すべきことがあれば教えてください。

露木学校教育課副課長 アンケートについては、生活アンケートとなっています。子どもたちだけではなく、保護者の方からも気になることを報告していただくようにしております。それをもって、こういった具体的な対応をしたということについては把握しておりませんが、子どもたちの生活について、学校だけではなく、保護者からの情報も大切に、学校だけでは気付かないこともあるということで、ご協力いただいております。

伴委員 これはいじめなどに関連してということですか。

露木学校教育課副課長 いじめだけではなくて、生活の中で気になること等もあります。

伴委員 ありがとうございます。

石井教育長 他に質疑等はございますか。

委員 質問、意見等なし

(3) 令和7年度社会教育事業の実施状況について

石井教育長 次に(3) 令和7年度社会教育事業の実施状況について、事務局から報告をお願いいたします。

露木社会教育課社会教育・青少年係長 資料3をお願いします。

(資料に基づいて、令和7年度社会教育事業の実施状況について 報告)

- ・放課後子ども教室、放課後児童健全育成事業

鶴社会教育課スポーツ振興係長 資料3をお願いします。

(資料に基づいて、令和7年度社会教育事業の実施状況について 報告)

- ・ヘルシープラザの利用状況、町民体育館の利用状況、弓道場の利用状況

石井教育長 報告が終わりました。社会教育課長、何か補足等はございますか。

村松社会教育課長 町の機構改革によりまして、弓道場ですとか学童の関係とか、よその課に事務が行ったということがあります。

また、協議会でも案件として出させていただいておりますが、地域政策課が担当しておりました湯河原文学賞について、今度は社会教育課が担当になります。新年度になりまして、事業の見直しがございました。ただいまの報告で出させていただきました、学童についてと弓道場につきましては、来年度の報告では載らないということになります。

深澤委員 学童については、こども支援課ですか。

村松社会教育課長 旧こども支援課で、健康こどもみらい課となります。

深澤委員 その方が動きがいいということですか。

村松社会教育課長 もともと学童の関係につきましては、県内の自治体を調べますと、町部局が担当している方が多かったんです。湯河原については、私が来る前から教育委員会が担っておりました。今回、町全体の機構の見直しの中で、事業の見直しをしようということで、このようになりました。特に町部局になったから問題があるということではなく、事業者が主体になってやっているものですから、問題ないのかなと思っております。

石井教育長 他に質疑等はございますか。

伴委員 ヘルシープラザと町民体育館についてですが、両方とも利用人数が増えている状況です。コロナについては昨年度も明けていましたので、その他に理由があるのでしょうか。

鶴社会教育課スポーツ振興係長 コロナの影響につきましては、何年か経過したということで、少し残っていた部分はあると思います。ヘルシープラザについては、器具の入れ替えを行ったりなど、地道なことも増加の要因になったのかなと担当としては思っております。

また、町民体育館につきましては、先ほどご説明させていただきましたように、ゆがわらフェスティバルですとかの町のイベントを開催させていただいたりして、少し増加しているのかなと思っております。

伴委員 以前、体育館の空調の話があったと思いますが、どうなりましたか。

村松社会教育課長 町民体育館の空調につきましては、平成30年に入れております。

伴委員 わかりました。

村松社会教育課長 体育館の利用が増えていますのは、イベントなどを開催する施設が他にないので、体育館の利用がなされ、そのために利用人数として増えているとも思います。ヘルシープラザについては、器具の入れ替えなど、指定管理者の努力の中でやっていただいております。現在の指定管理者には、非常によくやっていただいていると我々も評価しております。実施事業にも積極的に取り組んでいただいております、そういった努力の結果が出ていると思っております。

石井教育長 他に質疑等はございますか。

委員 質問、意見等なし

#### (4) 令和7年度湯河原町立図書館活動報告について

石井教育長 次に、(4) 令和7年度湯河原町立図書館活動報告について、事務局から報告をお願いします。

二見図書館長 資料4をお願いします。

(資料に基づいて、令和7年度湯河原町立図書館活動報告について 報告)

・資料状況、利用状況、事業報告

石井教育長 報告が終わりました。何か質疑等はございますか。

西山委員 5ページのセカンドブックについてですが、対象となるお子さんは、町の小学校に入学されたお子さんですか。

二見図書館長 そのとおりで、新1年生でございます。転校されてきたお子さんがいらっしゃったら、ご連絡をいただきまして、個別にお渡ししております。

西山委員 わかりました。

石井教育長 他に質疑等はございますか。

鈴木委員 貸し出し数について、特に一般図書が減っているというお話がありました。それから、貸し出しがすべてではないというお話もありました。図書館というのは、本を貸し出すだけの場ではないので、多様な学術文化に触れる情報センターとしての役割という部分も大きいと思います。今回、貸し出し数が減ったということで、それをどう対策するかということよりは、いま申し上げましたように、多様な学術文化の情報発信場所としての図書館のあり方というの、今後具体的に検討していただきたい。

それから、1ページ(1)資料状況の中で、分類別蔵書構成では小説・文庫が21.3%、児童書・絵本が22.2%と、かなりの割合を占めていると思います。多様な学術文化の情報発信センターとしての役割を考えますと、この円グラフでのそれ以外の右側の部分の充実というの、図っていく必要があるのではないかと考えております。

二見図書館長 ご意見ありがとうございます。そういった選書について、司書の方で一生懸命やっただいております。先ほどの説明にありましたように、ご高齢の方が単行本は重くて持つのが大変だということがあります。できるだけ文庫版のようなものを割合として増やせないだろうかとか、時代小説はご高齢の方に人気があり、いろいろな作家さんの作品を取り揃えておりますが、一般の方向けに、そのあたりに充実させたいということは、ちょうど図書館内で話があったところです。それ以外にも、学術的な分野でありますとか、未知ではありますが、情報提供する機関としまして、必要な部分について、司書と相談して考えていきたいと思っております。

村松社会教育課長 いまの報告の中で、読み聞かせボランティアのことも出ました。社会教育委員会会議の中で、いろいろテーマを持って研究していくという会議体ですが、今回は共生社会をテーマに研究しております。共生社会と言いますと、かなり広いテーマです。障がいをお持ちのお子さんに角度を向けていこうかという話の中で、県の支援学校を視察させていただきました。そこに図書館の職員や読み聞かせボランティアの方に来ていただきまして、読み聞かせをしてほしいというご要望もございました。早速社会教育

委員会議の中で諮りまして、図書館にも発しまして、6月に一度お伺いして、読み聞かせをやるという話になりました。今後もあそこの県の施設とは、社会教育委員会を通しながら、何かお手伝いすることがあるとか、図書館・美術館、他にもあると思いますが、社会教育課としましては、パイプになれるような形で活動していきたいと考えております。少し余談ですが、ご報告させていただきます。

深澤委員 図書館のあり方検討会が始まっていると思いますが、進捗について、教えていただけますか。

二見図書館長 いま委員の皆さんの意見書の取りまとめの作業に入っております。いろいろな意見がガラッと変わったりとか、表現がかなり突飛なものもあったりして、そこを調整しているところでございます。いろいろなご意見をいろいろな角度から言っていただいている状況で、取りまとめに時間がかかってしまっております。

深澤委員 取りまとめというのは？

二見図書館長 文書として、意見書としてまとめております。

深澤委員 内容はどのように決まっていくんですか。

二見図書館長 意見書を叩き台をつくったりする中で、こういう方がいいというご意見がバサッとあったりして、内容もそうですが、表現の仕方などについて、多彩な表現がありまして、調整中でございます。

深澤委員 このような方向で行っていたけれども、こういう極端なものも出てきているなど、全体像のプロセスを知ることはできますか。

村松社会教育課長 あり方検討会というのは、令和5年ぐらいからやっております。もともととは施設というハード面から入って行ってしまったんです。あの場所に建てる・建てない、別の場所に移転するなどの議論に進んでしまったところで、場所については、教育委員会やあり方検討会で決める部分ではないわけです。たとえば複合施設にするとか、町の本庁舎との絡みもあり、あり方検討会の方は少し先行的に行ってしまっていました。それを修正しようと時間がかかってしまい、中身について、どれくらいの規模の冊数が必要なのかとか、それにはどれくらいの面積が必要なのかとか、そういうところをまとめている感じです。最初のとっかかりが、施設の方から入ってしまっていたので、駅の近くがいいとか、どこだったらできるのかと言っても、じゃあどこがいいと言われても、教育委員会としては、そこにしましようとは言えないわけです。そういうことで、少しずれてしまったということがあります。

それから、本が好きな方がほとんどですので、大きい図書館がほしいといった意見なども出て、どういうレベルだったらいいいのかという調整ができなくて、あくまでも現在のメンバーの方たちが、こういうものが理想の図書館だというものをまとめて、今後は議会に報告するなどして、あくまでも検討委員会で出た意見はこうです、それが丸々町として生かせるかどうかというのは、また別の話になるのかなと思います。

深澤委員 現在のメンバーの方は当初からの方たちだと思いますが、最後までこのメンバーで行くんですか。

二見図書館長 特に委員の交代などがなければ、現状ではそのように考えております。

深澤委員 うちが本が好きな子たちが多いので、いまテーマとして、「永住と図書館」というテーマで、みんなが図書館のことを考えてみるということをやっているんです。三十代・四十代の子たちなので、永住と言うと先の話だけれども、こんな図書館があったら、そこにずっと住みたいという、そういう感覚からの発想とか規模とか、湯河原に合うようなものを、感覚的ではありますが、勝手にまとめています。若い人たちが永住したいと思うような角度で物事を考えたときの意見なども、参加型になったり、外の意見も聞きたいねというときに、そういう機会があったら嬉しいなど。ですから、全国のいろいろな図書館を見に歩いているんです。メンバーが同じですと、考え方が固定化されてしまうと思いますので、もし参考にできることがあればと思います。

二見図書館長 あり方検討会の方に、こういったご意見・ご提案があったということはお伝えすることはできると思います。

石井教育長 他にございますか。

鈴木委員 繰り返しになってしまいますが、その検討を進めるときに、あまり貸し出し数にこだわらなくてもいいと思います。皆さんが利用しやすい、利用したい図書館にするという方向で検討していただくことが大事なのかなと思います。

二見図書館長 委員さんのお一人から、図書館の貸し出し数だけではなく、蔵書数や規模、蔵書の新鮮度などについて、上位10%の図書館を目指そうというお話がありました。その中に貸し出し数も入ってくるとは思いますが、議論の中で、貸し出し数を増やさなければいけないとは、皆さん思っていらっしゃらないと思います。どちらかと言うと、規模やこういったものができないかという部分で膨らんでいると思います。施設のことについては、ものすごくお金のかかることですので、あり方検討委員会だけで決められるものではないという一方で、委員会としての結論・考えを出さなければいけないの

で、その取りまとめについて苦慮しているところです。最初の方針と、途中から方針が変わってしまったところもありましたので。

いずれにしても、いろいろなご意見は非常に貴重です。

村松社会教育課長 貸し出し数だけでなく、居場所のようなところになればという声もありましたね。

二見図書館長 課題解決型機能を持った第三の図書館ですとか、バリアフリー、逆に子どもの声をもっと聞こえてもいいんじゃないかとか、理想的な目指すべき図書館像みたいな話がいろいろと出ております。

村松社会教育課長 図書館が、みんなが集まる場所なんだよというというのは、委員の皆さんは一致しております。鈴木委員がおっしゃったように、貸し出し数だけではなくて、みんなが集まれるところ、そういう図書館にしてほしいというのが、委員全員が思っているところだと思います。

石井教育長 図書館の4人の職員の方は、どういう図書館にしたいと思っているんでしょうかね。というのは、決まってくると、そこをメインにして、まとめについても、すべての年齢の人たちが来られるようにしたいということだったら、年代別などにして出してあげれば、働いた人たちは効果があっていいじゃないですか。4人しかいらっしやらないのに、要望はこんなにあるんですよ。全部の要望なんて絶対聞けないから、「ここの図書館はこういう方向でやっております」と言って、「いいアイデアありませんか」とか、「二十代の人が少ないので何かアイデアありませんか」などを問えば、きっとアイデアを出す人が出たりして、それがいい取り組みになったりするかも知れません。結局どういう方向にするかということが見えてこない、みんなそれぞれ好きなことを言って、それだけで終わってしまいます。いろんな人が聞いているから、4人で相談して、こんな図書館にしたらどうかというようなことを、まずは柱にするとおもしろいかも知れません。

二見図書館長 なかなか職員の考えよりも、委員の皆さんのご意見が先行してしまっております。働いている側の者だけに見える点もあると思いますので、相談をしてみます。

深澤委員 そのこの主軸の人たちがどんな熱量を持っているかによって、アイデアや人や意見というのは変わってくると思います。役場の方ですので、利用者の皆さんが優先ですよというエネルギーの方が大きいと思いますが、携わっているのはその場にいる職員の方たちですので、その人たちが感じている思いが主軸になっていくと、すごく変わると思

います。

石井教育長 他に質疑等はございますか。

委員 質問、意見等なし

(5) 令和7年度町立湯河原美術館活動報告について

石井教育長 次に、(5) 令和7年度町立湯河原美術館活動報告について、事務局から報告をお願いします。

二宮美術館長 資料5をお願いします。

(資料に基づいて、令和7年度町立湯河原美術館活動報告について 報告)

- ・入館者数、美術資料の状況、事業実績

石井教育長 報告が終わりました。何か質疑等はございますか。

深澤委員 ここ1～2年、美術館は活気があるんじゃないかなと思います。癒し場の方の会議にも出ておりますが、and gardenさんとの連携について、あちらもがんばっている。美術館が休みの水曜日についても実施できたらということですね。

二宮美術館長 カフェの方は。

深澤委員 あその場所自体が、カフェも含めて、寄りたい場所になっていくんじゃないかなと思います。アートは映えにとって大事なので、すごくいい活動だと思います。

二宮美術館長 ありがとうございます。

石井教育長 美術館については、目標にしているのは入館者数ですよ。

二宮美術館長 そうです。以前から言っておりますが、2万3,000人が目標です。

石井教育長 この資料では、コロナ禍の影響もあったと思われる令和4年度が最も古いですが、そこと比較すると昨年は3,000人以上増えています。着実に上がっていますから、働いている人たちからすれば、昨年より多くなれば嬉しいですよ。

深澤委員 美術館周辺もすごくいいですね。湯元通りも近いですし。あの周辺が全体的によくなろうとしている感じがありますね。鍼のマッサージ屋さんも古い建物を生かしてやってくださったり、入館者数の増もそうですけど、あの周辺全体を考えた視野で考えていくことも必要ですよ。

二宮美術館長 もっと回遊性を高めていくために、カフェは影響あるかなと思います。美術館もそれに負けずに、いい作品を展示して、評判がよくなればと思います。

深澤委員 カフェに寄ったお客さんの数字などはわかるんですか。

二宮美術館長 カフェは組み数になります。いま手元には資料がないんです。

深澤委員 カフェに多く来ていたら、美術館に誘導できる流れをつくったりとか。

二宮美術館長 見ておりますと、美術館に来て、カフェを利用する方が多いと思います。

深澤委員 ではカフェにもがんばっていただいて、美術館の方にも流れるように。

二宮美術館長 カフェもがんばっていると思います。

深澤委員 今度、湯探歩（ゆたんぼ）のときに、夜ですけど、カフェで映画上映会がありますね。

二宮美術館長 こちらでも粗品をお渡ししたりとか、協力させていただいておりますが、「湯探歩で来ました」という方はそれほどないですね。ですから、もう少し回遊性を高めて、どんどん上がってきていただかないといけないですね。

石井教育長 昨日の町の会議で、町長か副町長がおっしゃっていたんですが、外務省を通じて、各国の大使の方が湯かけまつりにたくさん来られた際、その方々を翌日、どこにお連れしようかということで、外務省の方が選んだのが、美術館だったそうです。湯河原らしさ、あるいは観光地で美術館というのは珍しいということをアピールしたかったんじゃないかとおっしゃいました。だとすれば、美術館がそこにある意義が、一般の方々に対してもあるんじゃないかと思います。入館者数の増も大事なことですけど、美術館があること自体にも意義がありますから、図書館同様、そういうところを自信を持ってやっていただくといいと思います。それから、そのことを職員の皆さんが、大事なことを担って働いているんだと思えるといいですよ。よろしくお願いします。

深澤委員 先ほど図書館の件で、4人の職員の思いについて話がありました。つい入館者数の増減に一喜一憂してしましますが、自分たちがそこで働く存在意義のようなものがその人たちの中に出てくると、エネルギーの柱になって、結果的に人を呼ぶ、引力が働くような気がします。ここで働いていてよかった。この場所があることが、湯河原にとって日本にとって大事だと思える感覚、数字などではなく、感覚でいいんです、そうなるとうちに吸引力が働くと思います。

二宮美術館長 ありがとうございます。学芸員さんとの話では、展覧会を企画する際に、私は迫力のあるものを展示したらどうかと思ったりしますが、学芸員さんは埋もれてしまっている作品を掘り起こすという気持ちがあるようです。先ほどご報告しました、「むかし、旅館でした」展などがいい例ですね。小説の中に、先生の絵が使われていたというのも初めてだったんですよ。

石井教育長 他に質疑等はございますか。

委員 質問、意見等なし

その他

石井教育長 その他に入ります。委員の皆さんから何かございますか。

委員 質問、意見等なし

石井教育長 事務局から何かございますか。

大木参事 先ほどの報告事項の（１）令和８年度児童・生徒数についてのところですが、東台福浦小学校が、昨年８０人だったと申し上げましたが、８０人だったのは令和６年度で、令和７年度は７１人でした。ですから、深澤委員がおっしゃっていたように、増えております。その要因としましては、１年生が増えたということです。２年生以上はそれほど変わらないです。湯河原小学校・吉浜小学校については、ほぼ推計と同じです。推計が２５１人だったところは２５０人、吉小は推計どおりの２２８人となっております。東台福浦小学校については、推計が６５人でしたが、７７人ということで、１割ぐらいの誤差というのはかなり大きいのかなと思います。訂正させていただきます。

石井教育長 他にありますか。

事務局 なし

石井教育長 それでは、以上をもちまして、本日の秘密会を除く日程はすべて終了いたしました。